

牛頸区ホームページ : <http://www.kouminkan.info/onojo/ushikubi/>

牛頸区ホームページは大野城市と南コミュニティホームページのリンク集からもご覧になれます

【五月の行事報告】

●食生活改善推進会牛頸教室開講式

九日開講式があり、今年度から栄養士の森田先生と保健士の森下さんを迎え、大坪会長のもとで始まりました。森田先生から近年はファーストフードの消費が増え魚の消費が半分になっていること、介護が増えて医療費も増えるので食を通じて健康年齢を高めること、長寿の県はマダガスカル・お茶・米の消費が多い、前向きな気持ちと運動量、早歩きが健康の秘訣と講話されました。その後で皆で作った料理を楽しく食されました。もちろん式の前に皆で作った料理です。

●クリーンシティおおのじょう

一二日牛頸区各隣組で一斉にクリーンシティが実施されました。今回は児童の参加も呼びかけて親子で参加もありました。翌日のごみ回収も順調に終わり、地域がより一層綺麗になりました。環境美化は住み良い環境と一致します。皆様のご協力に感謝申し上げます。

●ミニデイ「牛頸あいあい会」

新緑の季節、爽やかな風の中、バスハイクが実施されました。1班は9日に佐賀城へ、2班は21日に飯塚・伊藤田衛門邸へ、3班は八女伝統工芸館へ。それぞれ高齢者と福祉推進員が参加。社協バスを利用し、新緑と美味しい地産ランチで満腹！気分爽快！楽しい交流とふれあいの1日でした。

●ホタル会場準備

二〇日午前中にホタル部会が集まり、ホタル会場の準備がありました。早速その夜から会場の運営がホタル部会により始まりました。六月上旬にかけてホタル飛翔の本番を迎えます。梅雨入りして蒸す日々が続けば沢山のホタルの幻想的な光が舞うのを見れることでしょうか。土日は混雑しますのでマナーを守って見学をお願いします。



●平野小・牛頸区・若草区合同運動会



二六日に快晴の空のもと平野小で合同運動会が開催されました。直前までインフルエンザで学級閉鎖が三クラスあり開催も危ぶまれましたが無事開催、児童も練習の成果を発揮し、地域の人々も感動のフィナーレとなりました。地域参加の体育班は参加が今年から四ブロックに分けられました。参加した五種目では綱引きと班対抗リレーが盛り上がり、綱引きは牛頸Aブロック、リレーは牛頸Aブロック(1〜3班) Aチームが優勝しました。区対抗では牛頸区が優勝で真新しい優勝カップが手塚区長に渡されました。また、班対抗の1〜三位までは読売新聞南ヶ丘店協賛の景品が渡されました。運営した体育部・体育係り、手伝っていた各部会など最後までお疲れ様でした。

●第一回コミュニティ別まちづくりワークショップ

二九日南コミで第一回が開催されました。平成二〇年から始まった第五次大野城市総合計画も前期基本計画が25年度で終わり、平成26年度から後期基本計画に入ります。前期基本計画の検証と課題の説明から後期基本計画の策定に向け各地区でワークショップが開催され策定へ活かされることとなります。この日は市の説明の後、48名が参加し6グループに分かれて意見交換をしました。まず地域を知り、今後の取り組みの重点項目について意見を述べて第一回目の2時間が過ぎました。

【六月の行事予定】

- 牛頸区、平野小アンビシヤス広場当番月
- 一日 隣組長会
- 六日 第二回コミュニティ別まちづくりワークショップ(南コミ)
- 八日 水源祭
- 一日 同和教育研究協議会総会(まどかぴあ)
- 一五日 平成二五年度筑紫地区公民館研修会(南コミ)
- 一五日 春季花苗植替え
- 二二日 地域ケア会議・企画調整会議
- 二二日 体育係り班長会議
- 二五日 地域活動インタラシシップ事前研修会
- 二八日 第二回地域福祉推進委員会
- 二九日 平成二五年度大野城市水泳大会(県立総合プール)

スエちゃんの牛頸ばなし

第七十七回 牛頸の民話(四)



次郎太郎の松 昔、畑ヶ坂に太郎と次郎という教台がいました。その兄弟が同時に隣村のお由という娘を好きになりました。お由は優しい太郎が好きでしたが、乱暴な次郎はお由に「俺の嫁さんになってくれ」といつも追っていました。困ったお由は或る時「次郎さん、今晚観音様のお堂で太郎さんと会うのでその時お話をしましょう」と言いました。その夜次郎がお堂に行く時、やがて人が来ました。次郎は兄の太郎さえ居なければ、と思つて持つていた短刀でその人に体当たりして刺しました。相手は倒れましたがやがて月の光にその人を見ると、なんと倒れているのはお由だったのです。お由は、わざと太郎の姿をして現れたのです。次郎は「お由、俺が悪かった、許してくれ」と泣きました。そして太郎と一緒に丘に墓を作つてお由の供養をし、二本の松を植えました。その松は大きくなつて戦時中戦闘機の潤滑油にするため伐られました。その内腐つてしまいましたが、二代目の松も大きくなりました。今ではどこにあつたのかも分かりませんが、多分葬儀社と料亭大草の間にあつたと思います。

竹田 準